

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

教員へのアンケートに拠る 図書館の教育支援機能の 展開について

長崎大学 学術情報部 学術情報サービス課
山本 知美
y-tomo@nagasaki-u.ac.jp

1

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

長崎大学の概要

学生数	約9,000名(学生7,600名、院生1,400名)
教職員数	約2,500名(教員1,100名、職員1,400名)
学部構成	教育学部、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・下村脩 長崎大学名誉博士 '08ノーベル化学賞受賞 ・幕末・明治期日本古写真コレクション ・学生顧客主義(第1期中期目標) ・低年次カリキュラムの導入(第1期中期計画)

2

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

本日の内容

- I. 利用者の声を活かした長崎大学の取り組み
 - ・第1期中期目標期間の活動内容と利用統計
- II. なぜ今年度、教員アンケートを実施したか？
 - ・アンケートの目的と背景、内容と実施方法
- III. アンケート調査結果
- IV. 評価と今後の展開について

3

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

I. 利用者の声を活かした取り組み

- 学生顧客主義

志波原智美、郷原正好、長瀬多代、柴多一雄
「大学図書館における学生のニーズを反映させた学習支援環境の構築:平成16年度から平成20年度に長崎大学附属図書館が実施した学生懇談会の過程と成果」
『大学図書館研究』NO.86 2009.8 p.47-62
- 利用者の声を図書館運営に活かす
 - ・学生懇談会
 - ・選書ツアー
- 伸びやかな発想での図書館活動
 - ・若手職員による企画展示(新鮮さ)
 - ・ブログによる情報発信(身近さ)

4

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

◆利用者の声を図書館運営に活かす



学生懇談会

- ・学部毎のきめこまやかな懇談会
- ・教員が懇談会を主催



選書ツアー

- ・館毎に年数回実施
- ・申込学生は書店での選書と推薦文(POP)の作成

5

2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

◆伸びやかな発想で図書館活動



若手職員による企画展示

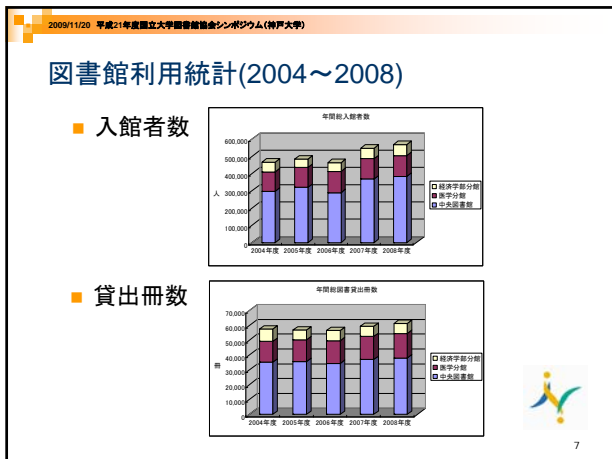
第8回(2009.7)企画展示
「宙(ぞら)を見るなら今だ一世界天文年ー」



ブログによる情報発信

・2008年10月～開始

6



2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)

Ⅱ.なぜ今年度、教員アンケートを実施したか？

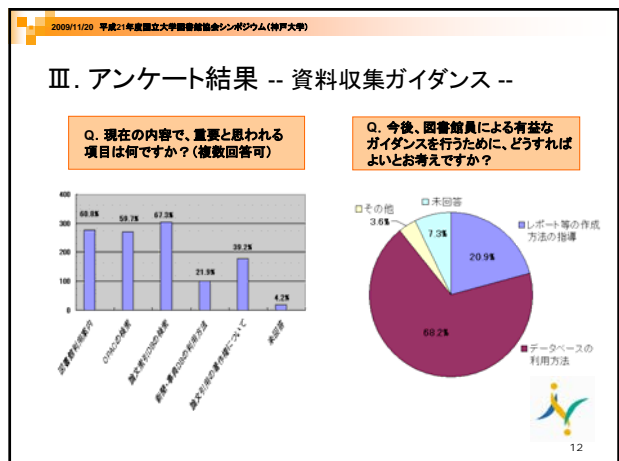
第1期中期目標期
 利用者のニーズに的確に対応し、資料や環境の整備を進めた
 → 利用の活性化

第2期中期目標期
 図書館における学生の自学自習環境を整備するとともに、資料・情報の有効利用、情報リテラシー等を通じた教育支援機能を充実させる
 →計画・実施のためのデータ収集

- 2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)
- ### ◆ アンケート実施まで
- 2008.10 館長より新学長、教学担当理事にアンケートの実施を打診
 - 2009.3 附属図書館委員会にて提案
 - 2009.6 同委員会にて実施要項及び「教員アンケート(案)」の提案
 - 2009.7 連絡調整会議にて部局長へ説明
 - " 事務連絡協議会にて部局へ協力依頼
 - 2009.7~8 アンケート調査期間
 - 2009.8 回収及び集計
 - 2009.10 調査結果を図書館委員会へ報告
 - 2009.11 " 役員懇談会・連絡調整会議へ報告
 - " " 機関リポトリにて公開
<http://hdl.handle.net/10069/22346>

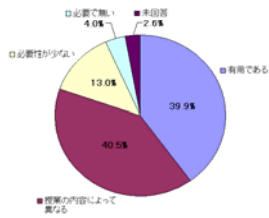
- 2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)
- ### ◆ 授業支援アンケートの柱
- 資料収集ガイダンス
 - ・ガイダンスの有用性の検討と今後の展開
 - 授業理解のためのガイドの作成
 - ・パスファインダーの有用性と作成
 - 授業支援(学生教育)のための資料収集
 - ・シラバス掲載図書の認知度や今後の方向性
 - ・教育用資料としてのEJ・DBの整備状況
 - その他(自由意見)

- 2009/11/20 平成21年度国立大学図書館協会シンポジウム(神戸大学)
- ### ◆ アンケート方法
- 各学部の教授会にて、図書館委員が説明を行い用紙を配布
 - Webフォームによる回答依頼をメールで全教員へ送信
-
- 【Webフォーム】
- ### ◆ アンケート対象数及び回答数
- 対象: 本学教員837名 (病院所属教員を除く)
 - 回答数: 452件
 - 回答率: 54%
-
- 【アンケート用紙・A4両面1枚(エコバージョン)】

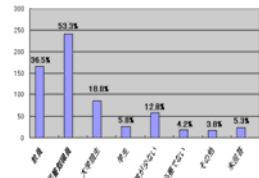


Ⅲ. アンケート結果 -- パスファインダー --

Q. 担当の授業において、パスファインダーがあれば、有用だと思いますか？

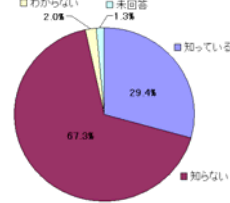


Q. 誰が作成するのが良いと考えますか？(複数回答可)

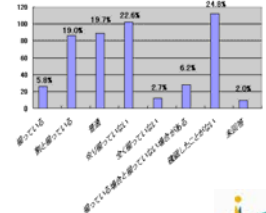


Ⅲ. アンケート結果 -- 授業支援のための資料収集 --

Q. 図書館でシラバス掲載図書原則2冊購入していることをご存じですか？

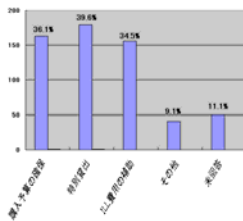


Q. 授業で紹介する参考資料は、図書館で整備されていると考えますか？

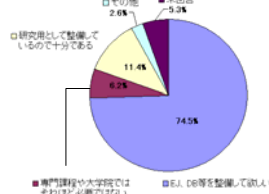


Ⅲ. アンケート結果 -- 授業支援のための資料収集 --

Q. 卒論や修論作成に必要な資料を図書館が支援するためには？



Q. 専門教育におけるEJやeBOOK、DBの整備についての必要性は？



Ⅳ. 評価と今後の展開について -- 資料収集ガイダンス --

- カリキュラム委員会等と連携して改善
- 論文の著作権や引用方法の説明
- 生命科学系におけるデータベース利用講習会の充実
- 学部専門課程・大学院の授業との連携

Ⅳ. 評価と今後の展開について -- パスファインダー --

- 作成について、図書館員への期待
- 分野や学習内容、レベルによる必要性の違いを認識
- 全国に共通するひな形の作成や共有

Ⅳ. 評価と今後の展開について -- 授業支援のための資料収集 --

- 専門資料の不足の解消(特に文系資料)
- 卒論・修論のための特別配慮の必要性
- 教育用資料としてのEJ・DBの充実